

大 津 広 報

1966-11



霜 月

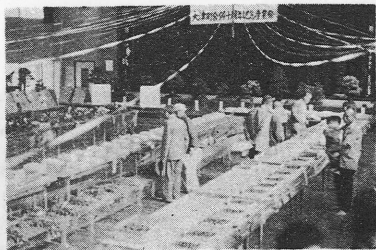


ノオロギが秋の夜長がをにぎやかに鳴き
もみじが 山を色どつていると思つたら
もう冬のはいが感じられ十一月にいる
人々が一日の そして一年という
時のアツという間に 過ぎてゆく
早きに驚くのはこのころである
もう来年も近い 一日の勤勞に汗を流し
収穫の喜びをたたえ、悔いのないこの月
をおくろう

-
- 2……霜月
 - 3……盛大であつた産業祭 花の国道57号線
 - 4……高遊原空港問題そのの概要 秋の交通安全旬間終る
 - 5……大津町の栗祥見 栗の増反苗の注文は早目に 県畜産共通会で晴れの入賞
 - 6……喜ばれる季節節保育所 農繁期の食事で考えたいこと 農家台帳を再作成
 - 7……健康を守る台所国民健康保険 国民年金委員 全国火災予防週間
 - 8……選管だより 商工会だより
 - 9……善意 若草だより
 - 10……「かぜ」に御注意 町営住宅入居者公募 水道通水15周年記念「サービス月間」運動
人事異動 町民税徴収日程
 - 12……初のアルコール会堀ヶ谷〜二重峠へ 七万匹を放流 輸血が必要です
-

表紙
記町
念村
産合
業併
一〇周年
祭

盛会だつた 産 業 祭



十月五、六両日にわたり、実施しました産業祭も好天に恵まれ、協賛された各種団体及び全町民みなさんのご協力により、盛大に催すことができたことを厚くお礼申し上げます。

合併十周年を迎えた当町産業の躍進は、他町村に比較し高く評価することができると思います。

畜産、農産物特産物、花卉園芸それぞれ部門も優秀品揃いで、質量共に今後当町産業振興推進のため意を強くするところであります。

意義ある産業祭の成果を報告すると共に、当町の今後の産業発展にたゆまぬ努力を致します。

畜産部門

1.肉用種牛

名譽賞 吹田 大田黒竹生 真木 土井峯春

吹田 平野安雄 外牧 國武 恵 下中 田呂丸春雄

真木 吉良茂雄 片又 村山 勉 下中 今村園太

大林 上村 啓

2.乳用種牛

名譽賞 引水 江見 淳 灰塚 今村一誠

宮本 古庄延寿 引水 坂本 弘

3.種馬の部

名譽賞 錦野 東尚之 引水 田島司 錦野 光永光吉

4.種豚の部

名譽賞 平川 中野勝喜 陣内 樋口誠之

二、農作物及び特産物部門

1.栗の部

金賞 引水 源川輝尚 中島 村上誠喜

2.里芋の部

金賞 大林 國武哲男 平川 古庄信一

3.落花生の部

金賞 吹田 上田 等

4.大小豆の部

金賞 中島 村上守一

5.その他(野菜及び農産加工品)

銀賞 西本照次 豊岡一太

6.花卉園芸の部

金賞 齊藤喜興

7.養蚕の部

金賞 杉水小山茂 上中芹川茂雄

花の国道57号線

町並を通り抜けると、白、赤、ピンクの美しいコスモスの花が道の両側に咲き競う。

これは引水老人クラブ「みどり会」の善意による花一ぱい運動の成果である。

この運動は社協の本年度事業の一つでもあるが七十二才の大谷会長さんを先頭に五十二名の会員達が育苗から一、二〇〇米にわたる移植作業と

手入れを続け十月始めには二米の高さにも伸びた丈夫な茎に一二つとかわいい花が見られるようになり会員待望の花の国道五十七号線が見事完成したものである。

然し会員に只一つの心残りは咲き乱れるきれいな花を見ることなく八月二十五日不幸にも死亡された会長大谷熊雄さんの姿が見られない事であった

みどり会の皆さんありがとう来年も又私達の目と心を楽しませて下さい。



高遊原空港問題 その後の概要

九月三日 岩坂、中島、上陣内、中陣内、下陣内、上町、下町の囑託員の方に空港問題の部落懇談会計画について打合せを行った(中島欠席)

九月二八、二九日 上町、下町、下陣内、中陣内、岩上陣内の六部落で部落懇談会を開催した。

議 会

十月一日九月定期町議会において設置された空港対策協議会の第一回協議会を開催、会長に西本議長、副会長に桐原副議長を選任其の後県空港建設準備室長川端商工水産部長の説明会を実施して質疑応答がくり返され其の後議会代表の板付空港現地調査報告会及高遊原の現地調査日程を決定して十月三日全員で現地調査が行われた。

十月十四日第三回空港対策協議会を開催し県側としては大体に測量の出来る処から測量したいとの意向であり現況から見て本空港対策協議会としてはどのような態度で行くかと慎重に協議された結果次の様な方針が打立られました。

①基本線としては前向て話を持って行き協議会としては地域住民が不幸にならない様に考へ其の点については県に対し其の都度要求するとの方針を決定されました。

②空港建設反対協議会と代表者会議を開き其の意向を聴く事になった。(十月十八日開かれた)

③板付空港の騒音調査を十六ヶ部落代表者で十月十九日実施する。(瀬田部落欠席)

④県の空港建設期成会には参加すると決定

十月十五日 岩坂、中島、上陣内、中陣内、下陣内、上町、下町の囑託員の皆さんのお集りを願つて、町長から先般行つた関係地区の部落懇談会が終つたのでその結果報告があり、今後の対策についての意見交換を行った。各囑託員から現況報告や意見発表等が行われたが対策に対する結論は出なかつた。

十月十九日 鶴野、瀬田、陣内の南部の全地区及び高

尾野、新小屋の各区代表者並びに空港対策協議会の代表者等約百余名で福岡の板付空港の騒音調査を行った。

調査場所は滑走路の離着陸地帯のすぐ近くでその周辺の民家や農協や学校等騒音に対する問題につき個々に調査を行った。

観察者は空港の滑走路から自分の直前で飛立つ時の騒音を聞いたり、近くの人から話を聞いたり、又自分が直接見た感じ等を総合して自分の住んで居る部落はここから何軒離れた処であり更に高度が数百メートルの高さで飛ぶ騒音はどれ位だろうか、又騒音による影響はどう変わるだろうか等想像して調査に対する受け取り方はその人それぞれの立場で見方考え方があつたようである。

十一月下旬 囑託員会を開催し空港建設の問題に関する懇談を行う予定

十月下旬～三月下旬 県農政部が高遊原地域開発のための土地改良事業、県営として水資源の調査を行う

秋の交通安全 旬間 終る

今年も十月十一日から二十日迄の十日間全国一斉に秋の交通安全運動が繰り広げられた。町では交通安全協議会、交通指導員、交通監視隊等の指導を受け、皆様の運動の徹底推進をすすめた結果期間中無事故の成果を果すことができた。

今後とも楽しい毎日がおくれるよう交通安全に注意して明るく、つづくりにご協力下さい。



大津町のクリ採見

産地として
大きく伸びる可能性

大津町にクリが初めて導入されたのは昭和三十六年で今年で六年になりました。人間で云うとようやく高校を卒業した程度の年令であり、選挙権がある様になるにはあと二年位はかかるでしょう。

本年からは農協による共同販売制を確立し、販売量も大津農協約一六、四〇〇kg、種田農協約四、五〇〇kgと昨年比で飛躍的な増加を見ただけで、生産者の意気込みのたまものと思います。

ここで大津町のクリの産地形成という面からみた、クリの戸籍調べをやつてみたいと思います。

現在約二〇ha(畑面積の五割)あるクリ園が、どこにあるか見つけるにも苦勞し、また、栽培してある園自体も不便な所を主体として、肩みのせまい思いをしている事は、生産者の方々が充分わかつておられる事と思います。個人別に見れば一〇aで二五〇kg(五年生以上)も収量を上げた人もおられるし、平均で五年生以上で二〇〇kg前後は収量があり、中には二年生で一〇a三〇〇kg近くも上げた園もあります。

本年最高の生産量上げた人は、一〇〇五kgで、来年は倍の生産量を見込んでおられます。

五〇〇kg一kg二百円として十万円以上の生産量上げた人も町全体で四一五人を数えるようになりました。まことにたのしいかぎりです。

これからの問題としては、第一にどの程度まで面積、生産量が伸びるかで、産地としての競走の勝負がきまると思っています。

さいわい、大津町は土壌、気象面からも適地であり、風さえ防げれば安定性も高く好条件にあります。

前記のような実績を上げた人もあり、町自体としても基幹作物の一つとしてとり上げていますし、農協の共同販売制の確立により、今後の大きな発展が期待されています。

農協共販実績(41年)

大津町合計 一九、八九五kg 種田農協計 四、五〇〇kg

〇kg 大津町農協計 一六、三九五kg 大津支所 二、三六九kg 種田支所 六、九八七kg 錦野支所 三六七kg 藤川支所 九九〇kg 平真城支所 七二六kg 吹田支所二、〇九九kg 矢護川支所二、八五七kg 本年の単価はだいたい一kgしは二〇円、Mは一九九円 Sは一八四円、SSは一六三元、裂果は一三六円、ただしこれは市場単価で、主な市場は大阪、神戸、福岡、北九州、熊本です。

クリの増反 苗の注文は早目に

二〇〇ヘクタールを第一期目標として、振興をはかつてきたクリ園も、すでに一〇〇ヘクタールを超え、県内でも第一番目の面積を保有するまでに到りました。

町では、当初の計画通り二〇〇ヘクタールの大集団産地の形成、数年後においては、生産額一億円を目標に、諸種の振興施策を講じて行く方針であります。

なお、本年も引続き増反に対しては、植栽助成を致します。本年も大増反がなされるものと思いますが、苗の発注時期になつております。

苗取扱は所属する農協で取扱われます。品種その他の問題については、関係機関にて協議研究の上、お知らせするものと思つています。苗の注文は早目に農協へ

果畜産共進会で晴れの入賞

十月十六日から十八日まで熊本市で開催された第二四回果畜産共進会に、大津町畜産を代表した畜畜が出品されたのとおり優秀な成績で晴の入賞を取ることができました。心よりお慶びいたします。

乳用種牛	名畜賞	モーズウオーカローベル号
肉用種牛	名畜賞	辰塚 今村一誠
肉用牛	優良賞	外牧 國武 恵
	はつよし号	
肉用牛	名畜賞	吹田 平野安雄
	重隆号藤栄号	引水 坂本栄一
種馬	名畜賞	栄号
	優秀賞	杉本 安永一
	初日号	錦野 東尚之
肉豚	名畜賞	ロビンサカモト
	ク四一二	ク四一四
	ク四一五	引水
		坂本一弘

喜ばれる季節保育所

いよいよ秋の忙しい収穫期が訪れ、農家では皆の手もかりたいような忙しさが続きます。町では今年も十月二十一日から十五日間、町内六ヶ所で季節保育所を開いています。朝早くから小学生や野良着姿のお母さんに手をひかれ、喜び勇んで乳児抱かまっています。

保母さんは、保母養成所から実習生としてやつて来た先生十二名が六班に分れ、要領よく専門的に正しい保育を行います。

仲々大変のようです。このように保育所で保母先生の熱心な指導によつて、正しい保育が行はれるので、安心して農作物の取入れに専念出来ると、労働力の不足する農家の人々に大変喜ばれています。

開設地区は次の六ヶ所です。

- 矢護川東三十五名
- 矢護川西三十六名
- 真木二十五名
- 引水五十名
- 引水二十名
- 岩坂三十三名



農家台帳を再作成

現在の農家台帳(一〇アール以上耕作者は昭和三十三年に作成されたその後六ヶ年を経過して耕作地の異動も相当あるものと思はれますのでこのたび全国的にこの農家台帳の再作成を行い今後の農地及び農政の資料に供することになりました。

十一月中旬に調査員が戸別訪問を行い調査致しますので、耕作地及び貸付地を把握され調査にご協力方お願いいたします。

農繁期の食事で 考えたいこと 大切な油類

いよいよ秋のとり入れの忙しい時期を迎えました。ところであまり張り切りすぎると、農繁期のと暫く病院のお世話に……という事になりかねないので、充分な睡眠休養栄養を確保する事を忘れず……

体を使う時は何といても力がいるわけです、腹一杯食べるのもいい事ですが、折角力を得るために食べるならたくさん食べて、胃拡張にならずとも、少量で力がウツと出る油類を多く食べたらどうでしょう。

米と油を比較してみますと、同量食べた時に油は木の倍以上の力を出してくれます。

金さえ出せばうんと御馳走があり、ぜいたくな食事が出来ると思つている人はいませんか。先日ある人の家計簿から私達の体に最も大切な蛋白質の購入費をしらべてみました。一人一日、蛋白質の購入にあてるお金が三円で、その中味が図の様な割合です。

最近、ごこの家庭でも魚肉ソーセージなど加工品が多く食卓にのぼる様です。調理が簡単だし、たやすく入手出来るという魅力はありますが、ただ刻んだだけで食卓に出されているのは何とも味気ないものです。

それより、もつと安価で栄養価の高い、鯷肉など利用して、主婦の手作りの料理をうんと御馳走してはいかがでしょう。

忙しい時期、何事も簡単になりがちですが、もう一度食事のバランスを考えて見ましょう。

菊池東部農業改良普及所



健康を守る台所
国民健康保険

国民年金委員

皆様の健康を守る台所、国民健康保険では病氣やケガの医療費がだんだん増える傾向にあります。

本年一月から全員七割給付をはじめましたが医療費の増加が目立ち、このまま続きますと皆さん方の医療費は年間一億円を突破するものと心配しています。

このうち三千万円は病院の窓口で皆様が直接支払い、残り七千万円が国民健康保険で役場から支払うこととなります。尚このうち約三千万円は保険税で、あとは国の補助金などでまかなわれます。

このように保険税は皆さんの病氣やケガに直接結びつく重要な税金で、医療費が増加しますと必然保険税も増額せねばなりません。又納税の如何は国保事業の運営を左右するということになってきます。

保険税の納税成金は年々上昇していますが税金ながら菊池郡内では最低の成績です。

今年こそ一人残らず保険税を完納して敵と共に健康に注意して明るい家庭づくりにつとめて下さい。



全国火災予防運動週間

国民年金制度の普及と年金に関するいろんな相談相手として、このたび県知事より次の方々が国民年金委員に委嘱されました。

年金について、不審の点や、案しておられることがありましたら、気軽に相談して下さい。

委員の氏名は国民年金委員の印鑑が掲げてあります。

赤星 富子 錦野 糸永 林 新
矢野サカニ 岩坂 古庄 協 高野野
村上 勝美 大林 宇野ミツコ 平川
吉田 政治 陣内 吉良喜代子 真木
大山 高顕 大津 今村 万 矢護川
山辺 菊 室 岩村 増治 杉水



11月26日～12月2日

一人一人が火の用心

火事が多い時期となりました。

不注意により火事を起こし持物全部を焼いて、この空気にふるえている姿は、ほんとうに悲しいことです。

火の元から油類、ガス類を遠ざける。

ストーブ、コンロ等、機器の点検をし、取扱に注意
寝タバコはやめ、灰皿には水を

家庭に消火器を

山火事を防ぐ注意

山でのたき火は、消す物を用意して

火はなるべく小さく燃す

タバコの吸いがらは、かならずもみ消して

土の中に入める

選管だより

選挙人名簿登録の申出

九月三十日及び十一月一日に確定した選挙人名簿に登録されて居ないで次に該当する者

①成年者、昭和二十一年十月十二日以後出生し満二十年に達した者、遅し十日

②転入者、昭和四十二年七月十一日以後大津町に転入した者は「転入」と同時

右の人は役場窓口係に選挙人名簿登録の申出書を提出して下さい。

登録の決定(年)に二回とされました

委員会では登録の申出をした者がその年の三月一日又は九月一日までに選挙権を有し、かつ引続き三箇月以上町内に住所を有する者である場合には、三月一日までに登録の申出をした者は、同月十日までに九月一日までに登録の申出をした者は、同月十日までで、それぞれ選挙人名簿に登録すべき者として決定します。

なお、九月一日の場合には、職権登録も併せて行うことが出来るようになりました。

転出等の場合の手続

①転出等により移動する場合は、転出の証明書と共に、選挙人名簿の登録の異動に関する書類(選挙人名簿登録証明書又は未登録の証明書)を必ず受領して住所を移した市町村の選挙管理委員会に届出て下さい。

②町内異動の場合、結婚又は住所移転の際も必ず役場の窓口にて移動の手続きを取って下さい。それによつて投票区の移動等も出来ることとなりました
選挙人名簿は、永久にすえおくものとされ、かつ各選挙を通じて二の名簿とされます。登録の決定が年二回に限られたので、早目に申出をされるようにして下さい

大津町選挙管理委員会委員長 臼杵成清

選挙管理委員会委員決定

本年十月十六日任期満了による大津町選挙管理委員会委員は、大津町議会に於て選挙の結果、次の方々が当選人

と決定しました。

矢護川 臼杵成清

平川 古庄哲夫

吹田 大田黒春成

町 益田正

青色申告をする

ことになつたが

忙しくて記帳する暇がない、簿記は解らないからという方も少くありません。

こんな方々のために当商工会

で簡易記帳方式を作りました

これなら、疲れた体に夜の記帳といふこともなく、一寸店先でもつけられます。

又これで青色申告も、認められる

ことになつております。

記帳は、自分の経営を改善するためにも、金融機関を利用するときにも、必要な要件であります。

近く記帳講習をする予定ですが、受講希望の方や、詳しいことを知りたい方は、商工会へ御相談ください。

テキスト等を無料で進呈します。

商工婦人、青年部の方であらしい町造りを

商工会婦人部及び青年部の活動は、本年度全国商工会共通の目標として強力活発に推進されております。

その目標は

商工業に従事する婦人青年の立場を自覚し、相互の親睦と教養の向上を図り、組織的な活動を以て新しい町造りに寄与せんとするものであります。

その事業は

- (1) 商工業に関する調査研究、先進地視察
- (2) 講習会、講演会の開催
- (3) 商工業の発展、町民福祉に寄与する活動
- (4) 相互の親睦向上の行事等でありませぬ。

その資格は

婦人部 女子会員又は家族で一八才以上の者
青年部 男子会員又はその後継者で一八才四十才の者
趣旨に御賛同の方は商工会まで御連絡ください。





(10月)

善意

老人ホーム慰問

- 六日 大津農協吹田青壮年部 粟三千五〇〇、落花生一六千五〇〇、ごぼう四千三〇〇、シロウガ三千八〇〇、サトイモ四千七千三〇〇
- 十日 灰塚婦人会代表今村アイ子様慰問金壹千五百円
- 十日 旭志村新藤チヨカ様、雜誌、チリ紙多数
- 十三日 上菟城郡甲佐町民生委員一行様二四名施設視察
- 十六日 菊陽村鎌田英子様外七名、御茶の接待、菓子多数

十九日 字城福祉事務所管内町村民生委員総務様外十二名施設視察

- 二十六日 駅通り石田マッセ、松野ハルノ、河上フジエ、中島モモエ様、演芸、淨瑠璃
- 二十六日 仲町松野ハルノ様慰問金壹千円也
- 二十六日 駅通り河上フジエ様慰問金壹千円也
- 二十一日 後泊野ロマスエ様招待金謝礼
- 一 金壹千五百円也寄付(九月分)

大津善意銀行

預託 物品口座

- 十六日 上町老人クラブ(代表者佐賀栄三)雑巾五〇枚を陣内小学校へ指定預託
- 二十六日 鍛冶の上住宅吉山エツ子殿より児童用上衣六点、下衣一〇点靴下七点預託

社協寄附金

- 十一月 一〇、〇〇〇円 神酒良人殿前田町一丁目 亡父末熊殿の香典返し

- 十四日 一〇、〇〇〇円 源川政美殿 引水
- 亡父亀松殿の香典返し
- 三日 三〇、〇〇〇円 大塚弘喜殿 本町四丁目
- 亡母マツオ殿の香典返し
- 一〇、〇〇〇円 同
- 室老人クラブを寄附

若草学園 だより

十月の生活努力目標 丈夫な体をつくり 健康で明るく生活する

社会見学旅行 十九日

八時出発 一路三角へ。大小の汽船がいそがしく出入する 港の気分を満喫し船のひととなる。

大半の児等が船へ乗ったことのない児である。 オツカナ驚嘆やら、大喜びで……てんやわんやです。 乳白色に映える力強く且つ豪壮な第一号橋を下から眺め くる。オレンジ色のスマートなつり橋の二号橋、三号橋を つこいしよとまたがっている。

児童は島巡りならぬ橋めぐりを二時間余楽しむ、途中航 速が急に落ち停船状態になる？ オヤオヤ先生が海の上に児童を抱えてオジソコたんこ!! してござる。貸切なだけではの風景。 陸の人となり一号橋を歩いて渡る。料金徴収所で通行料 金を払う。児童がどうして銭は払うのですかといつたけ げんな顔を……している。

フテ……な……高きやバイ……のぞくと危ななゾ…… 船が通る、バイ橋の実感を味わう。

帰途月星コム工場の運動靴が出るまでの作業工程を見 学し午後四時無事帰園しました。 来訪者 生長の家大津白鳩会、レコード一枚鉛筆五〇本 新村こども会 金一封、アゼリヤ会 金一封 小林老人会雑巾六〇枚 緒方計介 室 鯉二〇匹 引水老人会雑巾三〇本雑巾二〇枚

御来園頂き又お土産等沢山戴き有難うございました園長

力ゼにご注意

晩秋の季節となりそろそろ風邪が流行するようになって参りました。昔から風邪は万病のもとと申しておりますが、結核、小児マヒ、百日咳、デフテリア、猩紅熱等初めの頃は丁度風邪のような症状が出るのでそんな言葉が出たのだと思われず。

原因 風邪には色々な種類の風邪があり「セキ」や「痰」が出るもの、腫や関節が痛むもの、高い熱が出るもの色々ありますがやはり「ビレウス」というバイキンによる伝染病が多いのですから人から人うつつてゆきます。

予防 理想としては普断から風邪にかゝらないように睡眠、栄養、休養に気をつけておくべきですがではかゝつてしまつたらどうしたら良いでしょうか。

先づ何の病気でも、早期発見、早期治療が第一です鼻がむずむずして「クシヤミ」が出ればためら暖くして休むことです。それでもよくならないれば早目に病院に行き薬を飲みましょう。

栄養 熱があるからとおかゆと梅干では風邪のビレウスに勝つことは出来ません。消化のよい牛乳、卵、豆腐魚、粉乳、脱脂乳、新しい野菜や果物、手近にあるものを利用して下さい。但し子供等で風邪と共に下痢をする子がおりますから、そんな人は適当にお医者さんに相談して栄養をとらせて下さい。

町営住宅入居者公募

本年度町営住宅が十二月下旬竣功し十一月下旬入居者を公募する予定です。公募については後日回覧でお知らせします。

- 建設場所 大洋五右衛門地
大松山の東、約一〇〇米 現在の母子住宅の東
- 建設戸数 第一種 三十六、八四平方米 八戸
第二種 三十一、五〇平方米 十二戸

水道通水十五周年記念
サーピス月間運動

日頃ご協力を願つております水道事業もお陰をもちまして、順調な歩みをつゞげ本年をもつて十五周年を迎える事になりました。

水道は電気と共に我々家庭では一日も欠く事の出来ない大切なものでありますが、とすれば大自然の恩恵を忘れがちなものであります。

この大自然の恩恵と、日頃のご協力に対する感謝と、今後一層のご理解を深めていただきます意味で水道通水十五周年記念「サーピス月間」運動を実施いたします。期間中のご利用と今後のご協力をお願い致します。

- 期間 十一月一日〜十一月三十日
期間中の奉仕 水道の修繕(無料)
部品の取替(実費)

人事異動

新 旧

- 大塚 雅子 町民課窓口係 収入役室会計係
日野 昭子 収入役室会計係 総務課財政係
飯田 律子 総務課財政係 給食センター事務係
中林カツ子 若草学園給食係 町民課窓口係
村森シズ子 保育園給食係 若草学園給食係
合志 昭子 給食センター事務係 保育園給食係

町民税第三期集合徴収

午前九時より午後三時まで

11月29日	午後	牧野川	坂田林田	内島町	野川木	水林中	所中文
11月25日	午後	内外	錦島	岩瀬	大吹	森陣中	上下高平
11月29日	午後	前	前	前	前	前	前
11月28日	午後	前	前	前	前	前	前
11月25日	午後	前	前	前	前	前	前

二〇〇万円の養蚕経営 をめぐって

初秋蚕の繭の価格が、このほどK当り八七一円（大津町平均九三六円）と有史以来の高値で決まりました。本年の夏は最近にない高温と早ばつによつて諸種の農作物に大被害を蒙りましたが、それにもか、わらず養蚕は作柄にしても取繭率にしても相当によい成績を取めることができました。

また繭の高値は世界的な生糸不足がもたらすもので、ご承知のように繭、生糸の生産国であり、輸出国である日本が、いまや輸入国に変わりつゝあります。このようなことから農林省においても繭の増産を大きくとりあげております。このことは将来の養蚕の方向に明るい見通しをつけたものであります。

本県においても農林省の繭増産運動と相呼応しておりますが、大津町においても町の立地条件から米を基幹作物として畜産、果樹とならんで養蚕を取り入れた近代農業経営へと脱皮しつつあります。

しかし、広大な耕地、特に広大な畑地を有しながら火山灰土壌という極めて生産性が低く、労多くして収益のあがらないのが現状であります。そこで土地の生産性は低くとも、土地の肥培管理により、又省力化されることに、新規に導入しても、投資が少なく、還元も早く、より高い生産性のあるもの、また、安定した作物であるものが今後企業的養蚕経営をやる上において重要な事柄であり、安定した価格で、安定した販路を有するものが、農業経営においての最も必要な条件といえましよう。

反当五〇貫、繭取十五万円

菊池郡下には、反当五〇貫、繭取十五万円をあげておられる人が増えてきました。また菊池市の河原には部落のみで反当五〇貫の取繭をあげようと努力しておられる。

このように土地の生産性をあげる養蚕農家もありますが反面には大規模経営によつて一人当りの労働報酬をあげる養蚕家も多くなり、隣りの西原村の山内隆房さん老夫

婦は一〇〇万円の養蚕経営を確立しておられます。町内においても異業連連の協力もあり桑苗代の約〇〇％程度の補助で大規模経営に取り組み、将来二〇〇万円の養蚕経営を確立しようと着々とその目標に向つておられる人も沢山おられます。

栽植資金を利用

安定した経営にするためには規模の拡大が急務であります。幸い本年も多額の補助もあり、併せて新しく桑苗植付けに必要な植栽資金、また三年目までの育成に必要な育成資金の制度がありますので、より多くの方々にご利用戴き、より早く経営の確立を養蚕によつて打ち立てられますことを切望いたします。

繭価は保証されています

農家の皆さんはこの繭価がいつまで続くのか、逆に下落する不安をもたれる向きもありますようですがご安心下さい！！

この不安を解消するために日本蚕糸事業団というものが設立されて、繭価は棉立前にこの価格よりも安くならないという保証がなされております。

この価格がおおむね繭生産費を償ふことのできる価格であれば生産者も安心して繭生産に努力する意欲もわいてくることとなります。

このように、安定した価格で、安心して販売もできる反面桑園を造成するにしても有利な融資、高額の補助もあり、併せて徹底した生産指導のもとに省力技術の導入により、大規模経営、また土地の高効率の経営をすることに、併せて、その一戸一戸の養蚕が大きい大津町に普及し、大津町の産業革命につながることを確信してやみません。

（養蚕の専門技術員が大津町農協二階に三名駐在しております。いつでもご遠慮なく相談下さい。）

大津町養蚕農協（大津農協内）

技師 水 上 文 友

自然の清爽をもとめて歩く

初のアルコー会 堀ヶ谷（二重峠へ

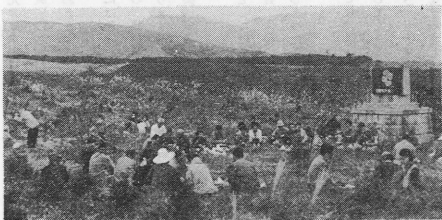
体力づくりと気分一新のためと自然を求めて歩こうと
大津アルコー会が発足

十月三十日 日吉神社参道に集合した

小学生より最高八十才のお年寄りまで七十一名の会員は
軽く準備体操の後、会旗を先頭に堀ヶ谷に向つて歩く

華やかな若いグループあり、昔話にはずむお年寄りの
グループあり家族総出のグループあり、秋の高尾野路は絶
好の「ハイキング日和」、堀ヶ谷緑林記念碑前で発会式、
坂本町長より挨拶のあと、会則をききめ、会員の自己紹介
などあつてなごやかに中食をすませて現地へ解散自由行
動にうつる。二重峠より赤水に下る組や峠より立野に向
う組、堀ヶ谷に紅葉をたずねる組などあり楽しい秋の一
日であつた。

会長 石原勉
幹事 高木孝晴
高木末雄、河田
政雄、坂本雄雄
赤星正、堀野勇
事務局 公民館
入会のおすゝめ
会費は年間
一〇〇円です
毎月一回例会を
行います。
老若男女を問ひ
ません。入会を
お待ちいたしま
す。



大津 広報

昭和四十一年十二月発行
毎月一回発行通巻一八八号

七万匹を放流

白川漁協では十月に三回にわたりコイ、フナ二〇〇〇匹
一〇〇匹を七万匹放流した。
この中には黄金、三色、紅の各種のコイが二千五千匹混
つている。緒方組合長は「特に瀬田上井手取入口より陣
内下町の間には四万匹を放流したので今後の豊漁が期待さ
れる」と語つていた。

これに要した費用は県補助一三万円組合費二二万円計二
十五万円であつた。

輸血が必要です
東武則さんを救おう

錦野部落の東さん(二十二才)は一年位前から血友病と
いつて血管が切れ出血すると血液が容易に止まらないと
いう希な病気にかり去る十月十八日鳥子川馬場医院に
入院し治療をつづけています。

この病気を治す為には暫くの間保存血によらない、鮮血輸
血の方法を必要としますがこの話を聞いた錦野消防団の
人達は自分達の善意で同僚の東さんを救おうと毎日一人
づつ病院に赴き一〇〇ccの輸血を実施して、います

団員の願いによつて病状もいくらか快方に向いつつあり
ますが未だ半分輸血を必要とする状態です
私達は何時どうしてこうした状態にならないとも限りま
せん。

この際東さんを救うため町ぐるみの「血液たすけあい運
動」を起したいと思ひますので血液型の如何を問ひませ
んから多数御協力の程お願い致します

ご協力の申込みは役場衛生係に御連絡下さい

発行所 大津町中央公民館
印刷所 大津町坂本印刷所